

# 食の循環

※家庭系ごみに占める生ごみの割合(重量比)は全体の46.7%と約半  
分を占めています。

今回は、生ごみを資源として活用する方法のひとつである「堆肥化」  
を通じて、各家庭の生ごみを減らす取り組みを探っていきます。

※ごみゼロ推進実現プラン 平成17年3月 三重県生ごみ組成分析調査 参照

## 「何年も堆肥化の取組みが

## 続いているのは、食の循環が

## うまくまわっているから。」

NPO法人 生ゴミリサイクル 亀さんの家 理事長 **亀井 静子**さん

平成21年 内閣府「女性のチャレンジ賞特別部門賞」受賞



うま 美し国おこし・三重 パートナーグループ

松阪市松名瀬町

### NPO法人 生ゴミリサイクル 亀さんの家

「亀さんの家」は平成9年、地域のお年寄りが集まる場所として亀井さんが自宅を開放したのが最初でした。亀井さんの「もっとお年寄りの生きがいにつながることをしたい」という想いから、平成15年に亀井さんと「亀さんの家」に集まるお年寄りたちとで生ごみの堆肥化を始めます。翌年にNPO法人「生ゴミリサイクル亀さんの家」を発足。元気なお年寄りたちが中心となって、堆肥を利用した野菜づくりを行っています。



### ← 一次処理

### 床材づくり



床材が入ったプラスチック道具ケースの中に新鮮な生ごみを毎日、投入します。生ごみを腐らせないように乾燥させていきます。



床材は「モミガラ・コメヌカ・落葉・土」などを混ぜ合わせてつくります。床材の中にいる微生物には、生ごみを分解する働きがあります。

### 生ごみ堆肥化の流れ

自然界では、落葉などが微生物によって分解され、土へと還ります。この微生物の働きを利用したのが生ごみの堆肥化です。生ごみ(有機物)を微生物の働きによって、腐敗させないように分解発酵させたものを「堆肥」といいます。

生ごみ堆肥は、野菜が育つのに必要な養分を多く含む「肥料効果」と、通気性が良く、保水力のある土に変える「土壌改良効果」の両方の効果を持っています。完全に分解発酵された堆肥は、農業に利用することができます。

### 生ごみ堆肥化とは